

適用  
拡大!

# 殺虫剤として なしのアブラムシ類で 使用できるようになりました!

1000倍希釈で  
効かせます!

- ◆果樹類と野菜類のハダニ類を効果的に防除する気門封鎖剤です。
- ◆野菜類のアブラムシ類・コナジラミ類・うどんこ病対策にも使えます。



殺虫・殺ダニ剤(気門封鎖剤)  
殺菌剤・展着剤

フーモン®

フーモンは日本化薬株式会社の登録商標です。

気門封鎖剤とは! ▶ 害虫の気門(空気の出入り口)をふさぐことで、窒息死させる薬剤です。

# 殺虫・殺ダニ剤(気門封鎖剤) 殺菌剤・展着剤

# フーモン®

殺虫剤分類 一 殺菌剤分類 一

- 種類:ポリグリセリン脂肪酸エステル乳剤
- 成分:ポリグリセリン脂肪酸エステル.....82.5%
- 界面活性剤 ..... 17.5%
- 性状:淡黄色可乳化油状液体
- 包装:ポリ容器(500mL×20本/ケース)

## 特長

- 1000倍の高希釈倍率で、野菜類や果樹類に使用できます。
- アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病を同時に防除します。
- 有効成分がすばやく害虫を包囲し、気門封鎖で窒息死させます。
- 収穫前日まで何回でも使用できます。
- 展着剤(殺虫剤・殺菌剤)として使用できます。



## 適用病害虫 と使用方法

### ●殺虫・殺ダニ剤、殺菌剤として使用する場合

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ポリグリセリン脂肪酸 エステルを含む 農薬の総使用回数				
なし	ハダニ類、アブラムシ類	1000倍	200~700L /10a	収穫 前日まで	—	散布	—				
りんご	うどんこ病										
果樹類 (りんご、なしを除く)	ハダニ類		150~500L /10a								
野菜類	うどんこ病、ハダニ類 アブラムシ類、コナジラミ類										
とうもろこし きく	ハダニ類										

### ●展着剤として使用する場合

適用農薬名	作物名	使用量(希釈倍数)	使用方法
殺虫剤 殺菌剤	野菜類	10mL/散布液10L(1000倍)	添加
	果樹類(りんごを除く)		
	りんご	5~10mL/散布液10L(1000~2000倍)	

## 上手な 使い方

フーモンは物理的に対象害虫の気門を封鎖する剤であり、薬剤散布液が対象害虫に直接かからないと防除効果が発揮されません。薬剤が十分にかかるように、ムラなく、葉裏も含めていねいに散布してください。

対象害虫の密度が上がる前に散布してください。発生が多い場合には、散布間隔を短くして散布してください。



薬剤抵抗性発現を避けるために、対象害虫の密度を下げるローション剤としてもお使いいただけます。

展着剤は加用しないでください。

## 殺虫 スペクトラル

殺虫活性の記号は、社内試験および公的委託試験の結果から当社独自に判断したものです。

ハダニ類			アブラムシ類			コナジラミ類		
卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫
△	○	○	○	○	○	△～×	○	○

○:防除効果が期待できる。 △:防除効果が弱い。 ×:防除効果が期待できない。

### △効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 散布液調製の際はよくかき混ぜ、調製後はなるべく早く使用してください。
- 本剤薬液が害虫にむらなくかかるよう葉の裏表にいねいに散布してください。散布液が直接害虫にかからないと効果が期待できない場合があります。
- 本剤は残効が短く、害虫の卵に対して効果が劣るため、害虫の増殖期や飛翔期には、5~7日間隔の連続散布で使用するか、他剤とのローテーション散布で使用してください。
- 散布水量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布直後の降雨が予想される場合は使用をさせてください。
- 作物の幼苗期や軟弱徒長苗、高温時には使用しないでください。
- とうとうの果実に薬害を生じるおそれがあるので、果実のある時期は使用をさせてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所に置かないでください。

この印刷物は2024年9月現在の登録内容に準拠して作成しました。

フーモンの  
最新情報・混用事例集は  
こちら



日本化薬株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)

TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-0682

DPFUM0012Y2409Z10000